

平成25年3月6日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第二部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成25年2月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成25年2月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 24 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	508	652	638	485	522	596	396	412	404	482	539	542
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	53,593	78,387	112,254	80,325	83,691	100,449	84,479	81,991	78,794	83,547	105,437	113,982
顧客口座数 (単位：口座)	184,260	186,877	189,570	192,007	194,315	196,680	199,051	201,086	203,125	204,938	206,375	207,859
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	37,732	36,935	39,034	41,341	43,321	42,495	43,576	43,005	42,796	41,718	41,219	41,929

年 月	平成 25 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	639	531										
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	225,359	231,130										
顧客口座数 (単位：口座)	210,010	212,103										
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	42,139	40,774										

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
 2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
 3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
 4. 平成20年6月から平成25年2月まで外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供に伴う実績数値が発生しており、当該数値を以下のとおり取り扱っております。

- (1) 営業収益 : ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益を含めて表示しております。なお、当該収益の会計処理は、当社グループ会社をカウンターパーティとする外国為替取引に係るトレーディング収益を営業収益として全額計上した上で、当社グループ会社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき外国為替取引に係る手数料を販売費・一般管理費に計上する方法によっております。なお、ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益と当社グループ顧客との外国為替証拠金取引に伴うトレーディング収益を区分することができないためこれらを区分しておりません。
- (2) 外国為替取引高 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社をカバー取引先とする外国為替取引を含めて表示しております。なお、当該取引高は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。
- (3) 顧客口座数 : ホワイトラベル提供に伴う口座数は含まれておりません。
- (4) 外国為替取引預り証拠金 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社がカバー取引先として受け入れる預り証拠金を含めて表示しております。なお、当該金額は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。

5. 平成21年7月より株式会社大阪証券取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を開始しており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
6. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

< 2月次の概況 >

2月の外国為替市場は、米ドル/円については、1ドル=91円台半ばで取引が始まり、堅調な米国各種経済指標や日銀総裁人事を巡る金融緩和観測等を背景に円安ドル高傾向で推移したものの、月半ばには過度な円安に対する牽制等の思惑から上値の重い展開となり、25日には日銀総裁人事に関する報道やイタリア総選挙を巡る不透明感を背景に相場が乱高下するなか一時90円台後半の安値をつけました。その後、欧州債務問題に対する懸念が燃えるなか、92円台半ばで月末を迎えております。米ドル/円の変動率は、前月の水準を下回ったものの高い水準を維持しました。また、米ドル/円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、概ね米ドル/円と同様の相場展開となり、米ドル/円を含めた全体としての変動率も前月の水準を下回ったものの高い水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、大口の金融法人顧客である楽天証券株式会社（以下、「大口金融法人顧客」といいます。）に対するホワイトラベル提供の終了に伴う減少があった一方、変動率の高まりによる超短期取引の増加や円売りポジションの利益確定の動き等から、前月比ほぼ横這いの231,130百万通貨単位となりました。一方、営業収益は、インターバンク市場におけるスプレッドの拡大や相対的に取引高当たり収益性の低い米ドル/円・ユーロ/円等の取引高の割合が大きくなったこと、さらに超短期取引の増加に伴うカバー効率の低下等の要因により取引高当たり収益率が低下したことにより、前月比約17%減少の531百万円となりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は円安の進行に伴う外国為替証拠金取引への注目の高まり等により前月比2,093口座増加の212,103口座となり、外国為替取引預り証拠金は顧客の増加による預託金の増加があった一方、大口金融法人顧客に対する外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供が終了したことに伴う預託金の出金があったことにより前月比1,364百万円減少の40,774百万円となりました。

< 外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供の終了に伴う影響等について >

大口金融法人顧客に対する外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供は、平成25年1月7日（月）からの大口金融法人顧客自社サービスの開始を経て平成25年2月16日（土）に終了し、この日以降、大口金融法人顧客からの外国為替証拠金取引は取引高、ポジションともにゼロとなっております。

これに伴う2月次の業績への影響は、当社グループの営業収益の大半を占める外国為替証拠金取引に係るトレーディング損益について、ホワイトラベル提供終了前の11営業日と終了後の9営業日を比較した場合、1日当たりの収益はむしろ増加していること、2月次の営業収益の水準は月次の損益分岐点を明らかに超過していることから、当社グループの業績が外国為替市場の影響を受けることは考慮しなければならないものの、現時点では想定範囲にとどまっているものと判断しております。

以上